

## News Release

2016年10月25日  
一般社団法人 日本電機工業会 (JEMA)

### 重電機器受注生産品の受注実績 2016年度「第Ⅱ四半期(7-9月)」及び「上期」

JEMA では、わが国の重電産業に関する基礎資料のうち、重電機器の受注動向及び需要者(業種)別の市場動向等を通して重電産業の動向を把握して頂くために、JEMA 会員独自で実施している重電機器の自主統計を一般に公表しております。ここに、重電機器受注生産品の2016年度「第Ⅱ四半期(7-9月)」の受注実績を公表致します。

#### 2016年度第Ⅱ四半期(7-9月)の概要

##### 【概況】

第Ⅱ四半期の受注額は4,623億円(前年度同期比94.3%)と前年同期比減少となった。非製造業、官公需が増加となったものの、製造業が3四半期連続の前年同期比減少、外需も減少となり、全体を押し下げた。  
(\*以下、前年度同期比は「同」と略記)

##### 【需要者別動向】

###### ■内需

内需は3,511億円(同108.5%)となった。非製造業の同増加により、堅調を維持した。

- 製造業は662億円(同81.0%)となった。主要需要先でみると、繊維・化学・窯業・土石は同増加となったが、鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、自動車と同減少となった。
- 非製造業は2,136億円(同122.0%)となった。大口需要先である電力業が4四半期連続の同増加となり、全体を押し上げた。
- 官公需は670億円(同116.8%)となった。大口需要先である地方公務をはじめ、すべての需要先が同増加となった。

###### ■外需

外需は1,112億円(同66.6%)と、昨年度の水準が高かった反動により、同減少となった。

##### 【製品別動向】

- 交流電動機、制御装置は外需が同減少、内需が同増加となり、全体として同増加となった。
- 発電機、遮断器は内需が同減少、外需が同増加となり、全体として同増加となった。
- 配電装置は前年並みとなった。
- 電力変換装置、変圧器は内需、外需とも同減少となった。

#### 2016年度 上期の概要

2016年度上期の受注額は8,259億円(同97.5%)と、前年同期比減少となった。

(\*以下、前年度同期比は「同」と略記)

- 内需は6,182億円(同105.9%)と2半期連続の同増加となった。非製造業のうち、大口需要先である電力業が2半期連続の同増加、官公需も同増加となり全体を押し上げた。一方、製造業は同減少となった。
- 外需は2,078億円(同78.9%)と、3半期連続の同減少となった。

##### ■対象(重電機器受注生産品)

ユーザより注文を受け、個別の仕様で製造する製品群である受注生産品を調査対象としております。

- ・需要者(業種)は主に電力業や鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信機械、自動車などの主要製造業及び官公需等であり、
- ・重電機器の主要製品は、回転機(発電機、交流電動機)、静止・開閉器(電力変換装置、変圧器、遮断器、配電装置、制御装置)等であり、

##### ■公表の内容

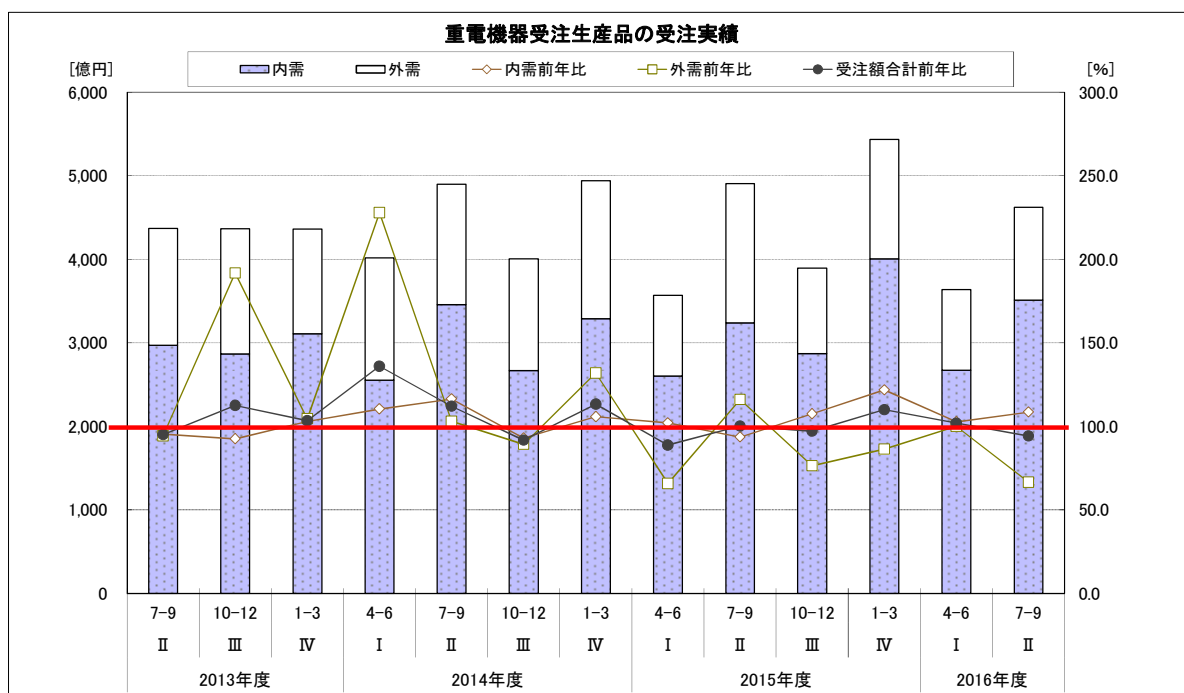
重電機器受注生産品全体の受注実績額、内需の需要者(業種)別、外需などを把握することで、国内外の受注動向および市場動向を把握することができます。また、重電機器受注生産品の受注実績は、需要者(業種)別の設備投資の状況等を把握できますので、景気動向の先行指標として活用ができます。

##### ■公表の形態

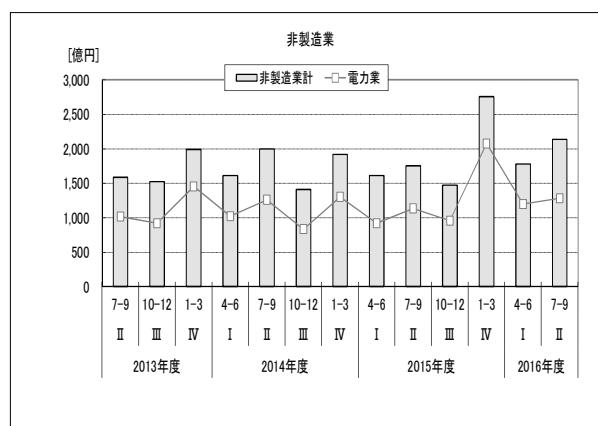
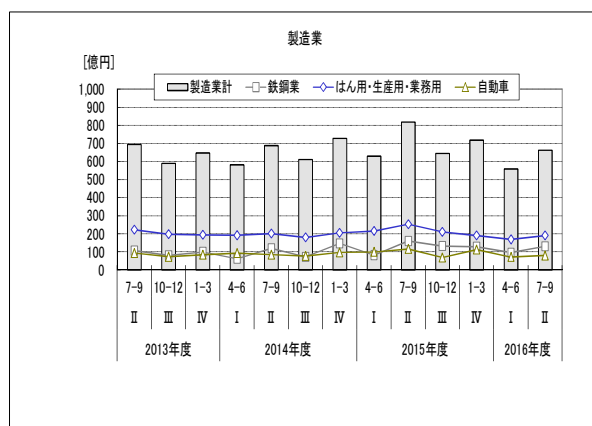
JEMA 会員独自で実施している自主統計を四半期毎に公表致します。

## ■ 四半期実績の推移

【受注実績: 内需+外需】



## 【内需内訳】



本資料に関する弊社問い合わせ先

TEL: 03-3556-5885

重電部調査統計課